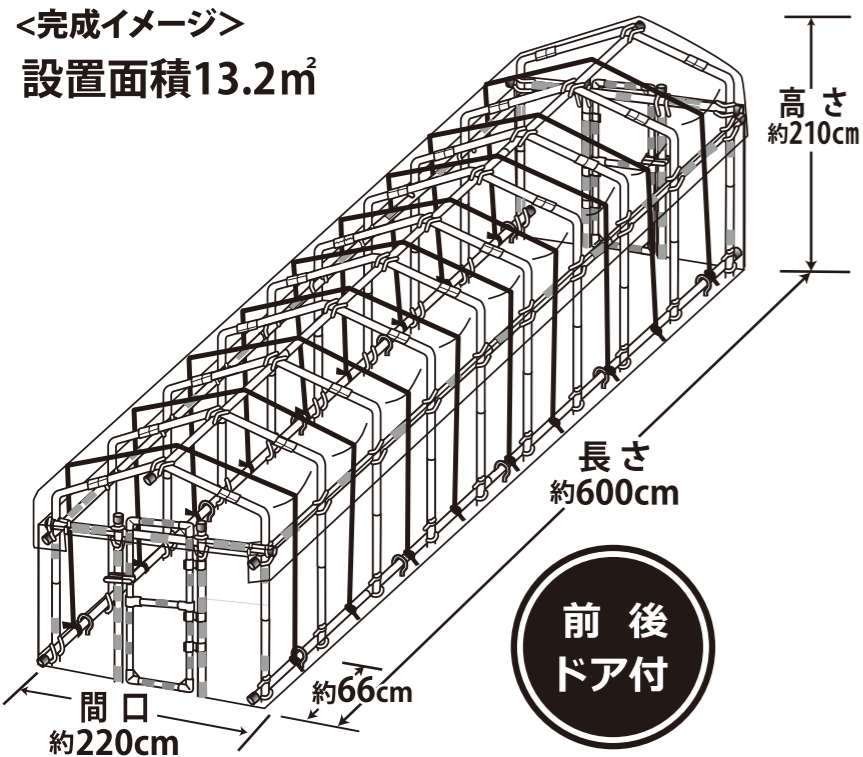


組み立て前に、お客様にて準備するもの

※次の道具は組み立て時に必要になるもので製品には含まれておりません。組み立て作業を開始する前にお客様にてご準備ください。

手袋、ハンマー、巻尺、キャタツ(台)、ハサミ又はカッター、プラスドライバー



ダイムハウス ドア付 4坪用 組み立て説明書

「ドア付共通パイプセットA」箱、「ドア付共通パイプセットB」箱「ドア付パイプビニールセット」箱には、同じ部品が入っています。組立を行う前に両方の箱を開封し、部品の合計数を必ず確認してください。

⚠️ 組み立て上の注意

- パイプや部品などの先端でケガをする事がございます。必ず手袋などを着用の上、組み立て作業を行ってください。
- 無理な姿勢などによる転倒やケガを防止するため、必ず2人以上で組み立て作業を行ってください。
- 変型、落下の原因になりますのでダイムハウスの上には上らないでください。
- 設置場所によっては、付属のらせんピンで不十分な場合、別途補強を行ってください。

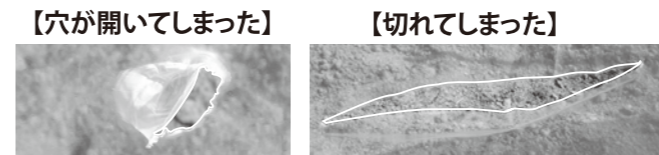
【部材一覧表】※ビニール表面の白い粉は、ビニールのくっつきを防止するための粉です。原材料はコーンスターチ(トウモロコシ)です。

Ⓐ 脚パイプ(先端ソブシ) マジックライン 24本 ドア付共通パイプセットB=20本 ドア付パイプビニールセット=4本 φ19×1350mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓑ 肩パイプ 「●」印字 20本 ドア付共通パイプセットA=16本 ドア付パイプビニールセット=4本 φ19×1250mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓒ ヤネパイプ 10本 ドア付共通パイプセットA=8本 ドア付パイプビニールセット=2本 φ19×1250mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓓ ツマ面 縦パイプ 4本 ドア付共通パイプセットA φ19×650mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓔ ツマ面 横パイプ 「●」印字 4本 ドア付共通パイプセットB φ19×1085mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓕ 通しパイプ I 「●」印字 10本 ドア付共通パイプセットB φ19×1500mm スチールパイプ樹脂コーティング
Ⓖ 通しパイプ II 「●」印字 10本 ドア付共通パイプセットB=5本 ドア付パイプビニールセット=5本 φ19×1500mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓖ ドア用パイプ 横 6本 ドア付パイプビニールセット φ19×600mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓖ ドア用パイプ 縦 8本 ドア付パイプビニールセット φ19×800mm スチールパイプ樹脂コーティング	Ⓖ 側面ビニール 2枚 ドア付パイプビニールセット 約0.1mm×150cm×8.0m 農業用ビニール	Ⓖ ヤネビニール 1枚 ドア付パイプビニールセット 約0.1mm×330cm×7.7m 農業用ビニール	Ⓖ ドア用ビニール 2枚 ドア付パイプビニールセット 約0.1mm×185cm×1m 農業用ビニール
Ⓜ 中ジョイント 72本 (7本予備) ドア付共通パイプセットA=55本 ドア付パイプビニールセット=17本	Ⓝ パッカー 96個 (予備有) ドア付共通パイプセットA=60個 ドア付パイプビニールセット=36個 φ19mm用 ポリエチレン、スチール	Ⓝ クロスバンド 60本 ドア付共通パイプセットA=50本 ドア付パイプビニールセット=10本 φ16-20mm用 スチール	Ⓝ 平キャップ 18個 ドア付共通パイプセットA φ19mm用 ポリエチレン	Ⓝ らせんピン 10本 ドア付共通パイプセットA=8本 ドア付パイプビニールセット=2本 スチール	Ⓝ ハウスバンド 9束 ドア付共通パイプセットA=7束 ドア付パイプビニールセット=2束 7m ポリプロピレン
Ⓝ 打ち込み杭 1本 ドア付共通パイプセットB φ20×900mm スチールパイプ樹脂コーティング、 ポリエチレン	Ⓝ エルボ 8個 ドア付パイプビニールセット φ19mm用 ABS	Ⓝ Tジョイント 4個 ドア付パイプビニールセット φ19mm用 ABS	Ⓝ 蝶番 6個 ドア付パイプビニールセット φ19mm用 ABS	Ⓝ 取手部品 2個 ドア付パイプビニールセット φ19mm用 ナイロン	Ⓝ ネジ 54個 ドア付パイプビニールセット スチール

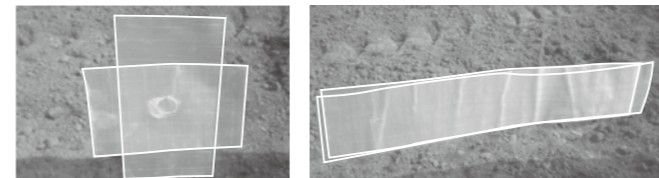
- ドア付共通パイプセットA箱の中に
Ⓑ16本、Ⓒ8本、Ⓓ4本、Ⓜ55本、Ⓝ60個、Ⓝ50本、Ⓝ18個、Ⓝ8本、Ⓝ7束入っています
- ドア付共通パイプセットB箱の中に
Ⓐ20本、Ⓕ10本、Ⓖ5本、Ⓔ4本、Ⓝ1本入っています
- ドア付パイプビニールセット箱の中に
Ⓝ2枚、Ⓖ1枚、Ⓐ4本、Ⓑ4本、Ⓒ2本、Ⓖ5本、Ⓜ17本、Ⓝ36個、Ⓝ10本、Ⓝ2本、Ⓝ2束、Ⓝ12シート、Ⓖ6本、
Ⓝ8本、Ⓖ2枚、Ⓝ8個、Ⓝ4個、Ⓝ6個、Ⓝ2個、Ⓝ54個入っています

ダイムハウスを長く ご使用いただくために 知っておいていただきたいこと

施工中または、ご使用中にビニールが破れてしまった場合



補修テープ貼り付け後

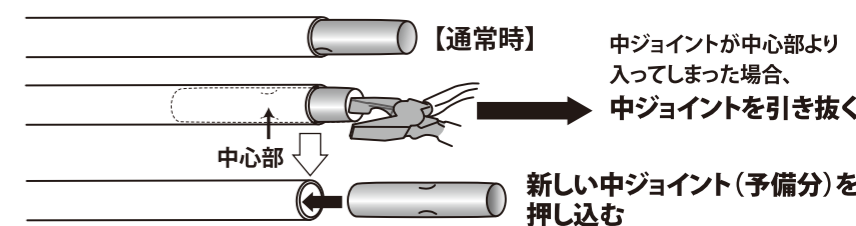


ハウスの設置場所や環境によって、強風にさらされると、ビニールが破損する場合があります。その場合、**補修**をすることで長くご使用いただけるようになります。「ハウスビニール補修用テープ※」を使い、破損部分の**内側と外側**にしっかりと貼り付けて補修してください。

なるべくシワにならないように補修してください。テープを貼る所はしっかりと汚れや表面の粉(ビニールの表面の粉は、コーンスターチです)を落としてから補修を行ってください。

※補修テープは別途販売店などでお買い求めください

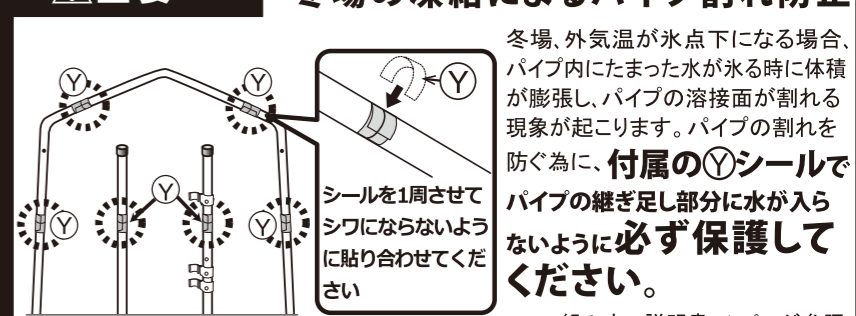
組み立て中に中ジョイントがパイプの奥に入ってしまった場合



中心部より中ジョイントが入ってしまった場合、ペンチなどで中ジョイントを引き抜き、新しい予備の中ジョイントを差し込んでください。

中ジョイントを引く抜く、または押し込む際にパイプ端面などでケガをしないよう、十分に注意して作業を行ってください。

⚠️ 重要 冬の凍結によるパイプ割れ防止

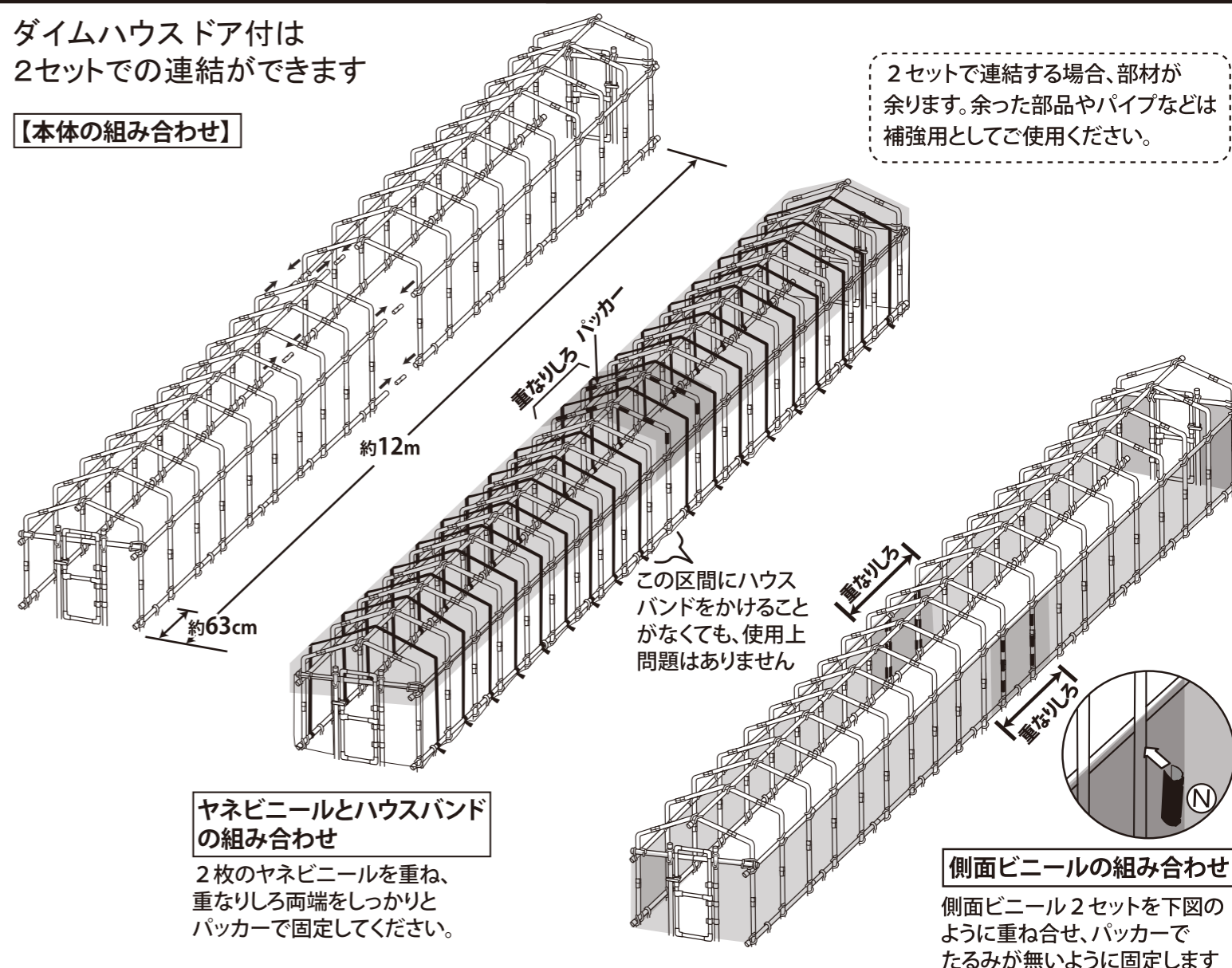


冬場、外気温が氷点下になる場合、パイプ内にたまった水が氷る時に体積が膨張し、パイプの溶接面が割れる現象が起こります。パイプの割れを防ぐ為に、**付属のYシールでパイプの継ぎ足し部分に水が入らないように必ず保護してください。**

組み立て説明書2/3ページ参照

ダイムハウス ドア付は
2セットでの連結ができます

【本体の組み合わせ】



2セットで連結する場合、部材が余ります。余った部品やパイプなどは補強用としてご使用ください。

ヤネビニールとハウスバンドの組み合わせ

2枚のヤネビニールを重ね、重なりしる両端をしっかりとパッカーで固定してください。

側面ビニールの組み合わせ

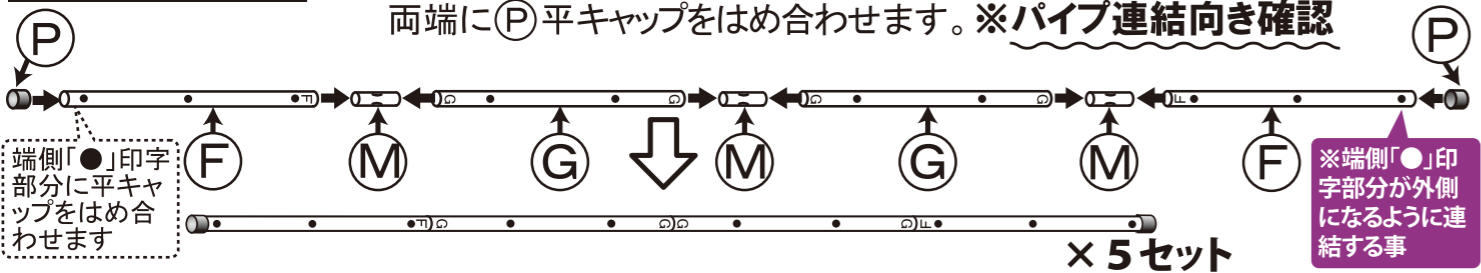
側面ビニール2セットを下図のように重ね合せ、パッカーでたるみがないように固定します

タイムハウス ドア付 4坪用 組み立て説明書

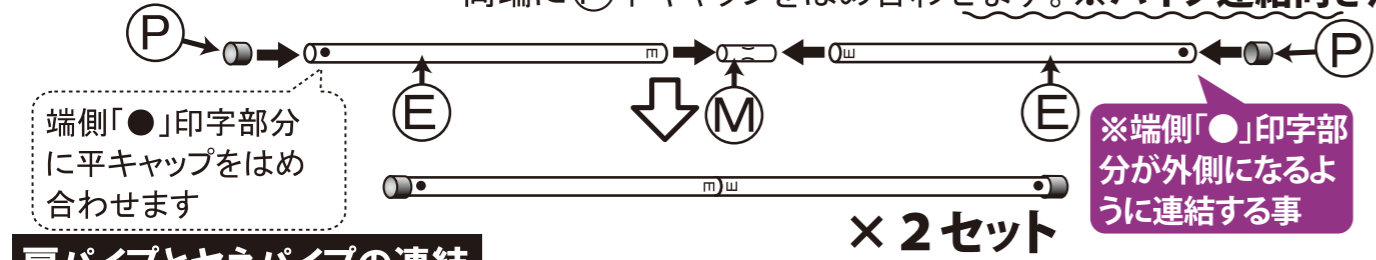
※イラストはイメージです。

【部材の組み立て】

通しパイプの連結 1. (F)通しパイプⅠと(G)通しパイプⅡを(M)中ジョイントで下図の様に連結し、両端に(P)平キャップをはめ合わせます。※パイプ連結向き確認

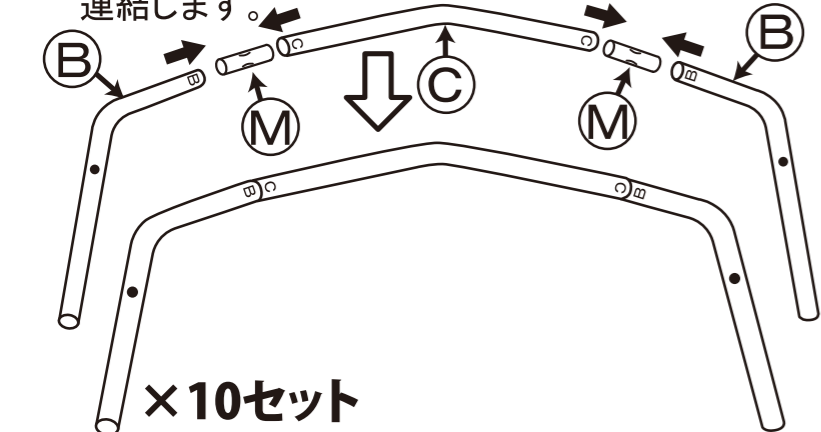


ツマ面横パイプの連結 2. 1と同様に(E)ツマ面横パイプ2本を(M)中ジョイントで連結し、両端に(P)平キャップをはめ合わせます。※パイプ連結向き注意



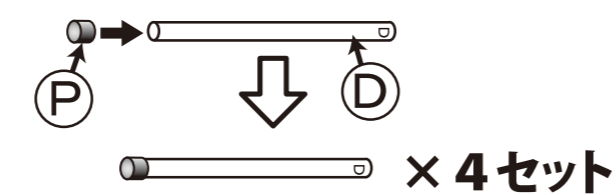
肩パイプとヤネパイプの連結

3. (B)肩パイプ2本と(C)ヤネパイプを(M)中ジョイントで連結します。



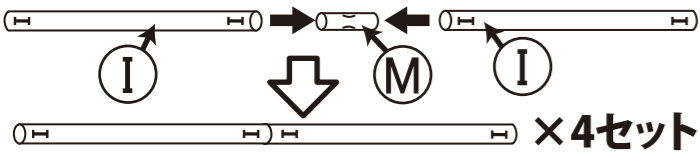
ツマ面縦パイプ+キャップ連結

4. (D)ツマ面縦パイプ片側に(P)平キャップをはめ合わせます。

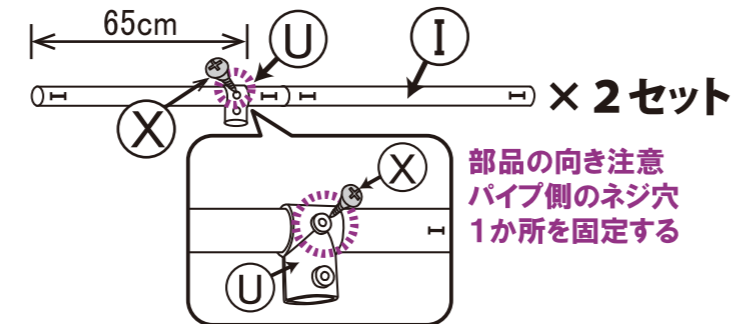


ドア部品の組立て

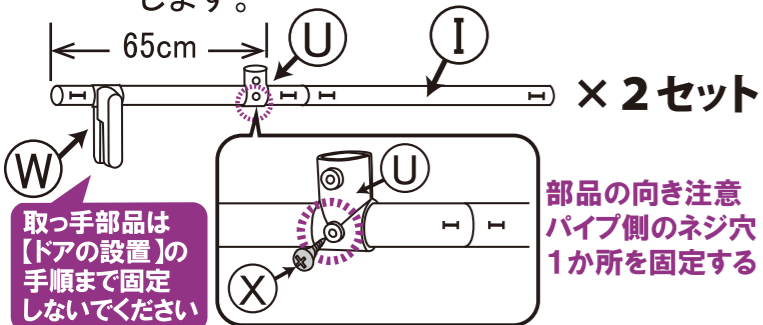
5-①. ①ドア用縦パイプを連結します。



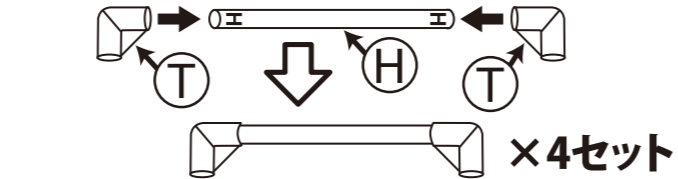
5-③. ①に(U)Tジョイントを通し、(X)ネジで(U)Tジョイントを1か所固定します。



5-②. ①に(W)取っ手部と(U)Tジョイントを通し、(X)ネジで(U)Tジョイントを1か所固定します。

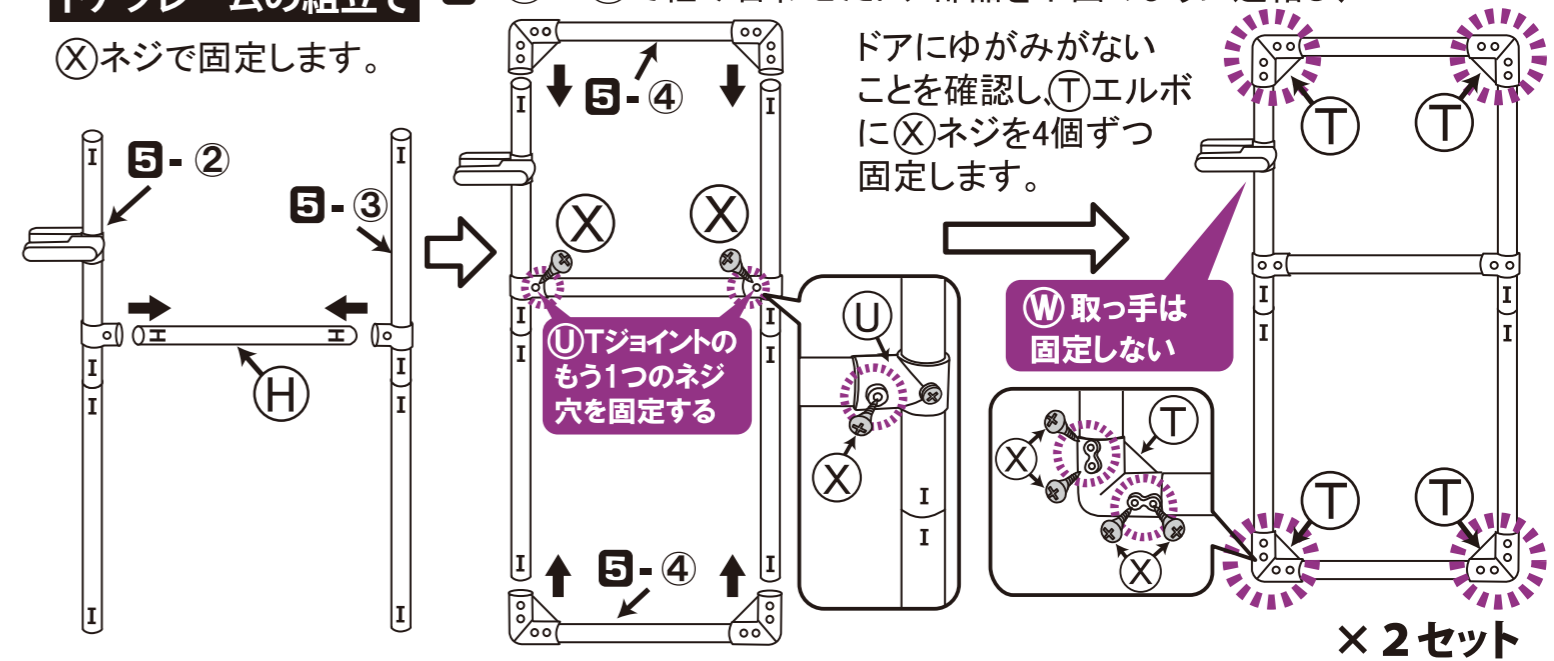


5-④. (H)ドア用パイプ横 両端に(T)エルボをはめ合わせます。



ドアフレームの組立て 5-①~④で組み合わせたドア部品を下図のように連結し、

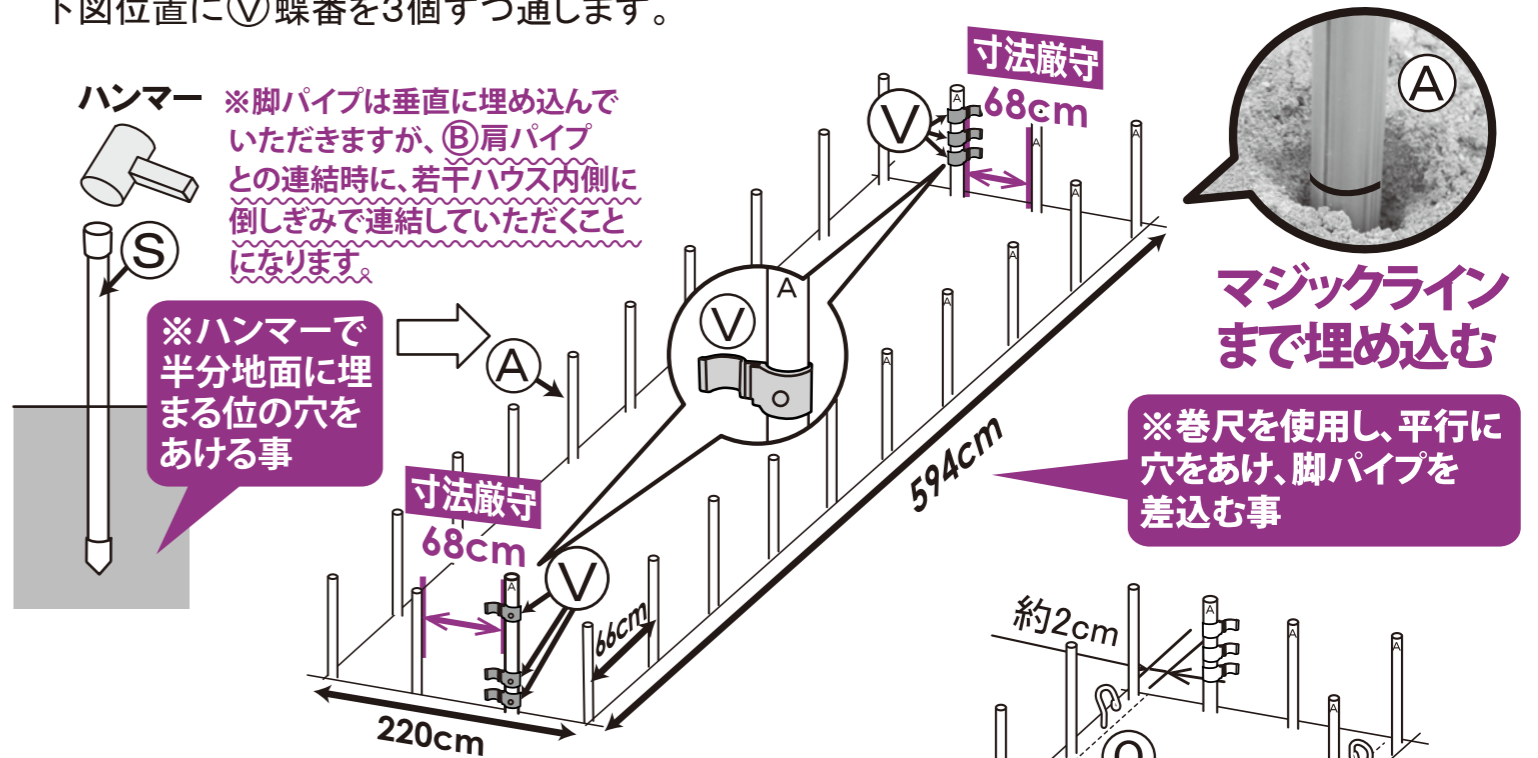
(X)ネジで固定します。



設置地面の穴あけ+脚パイプ埋め込み

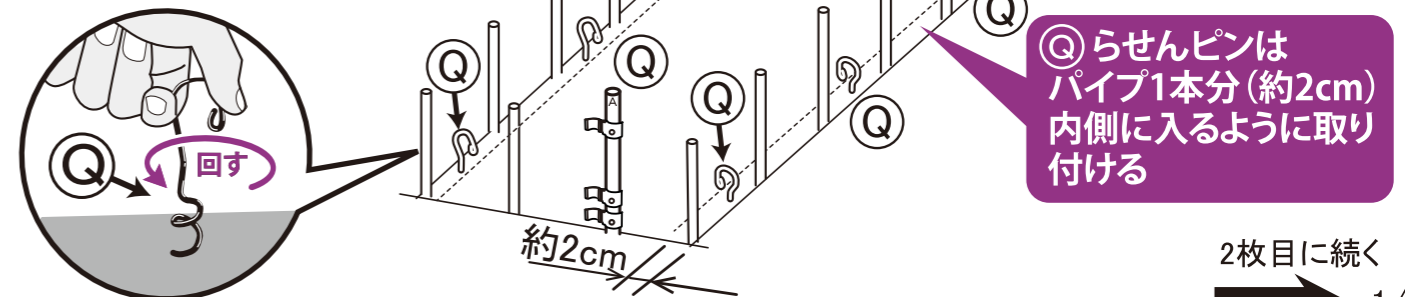
(S)打ち込み杭で、(A)脚パイプ埋め込み位置

(完成イメージ参照)に穴をあけ、(A)脚パイプをマジックラインまで埋め込み、ツマ面(前・後)下図位置に(V)蝶番を3個ずつ通します。



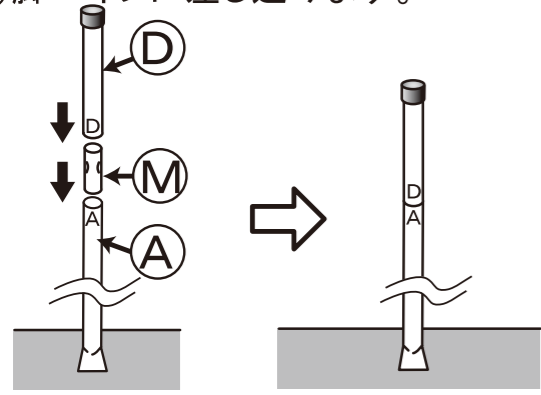
らせんピンの取り付け

(A)脚パイプ内側 約2cm(下図位置)に(Q)らせんピンを10本を回転しながら押しこみます。

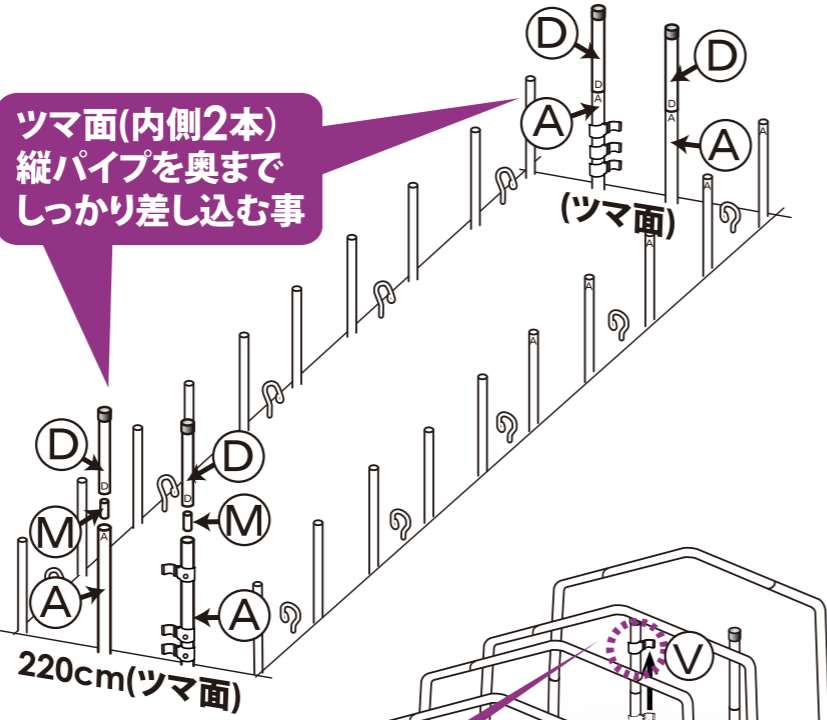


脚パイプとツマ面縦パイプの連結

④で組み合わせたツマ面縦パイプと
 (M) 中ジョイントをツマ面(間口面前後)
 (A) 脚パイプに差し込みます。

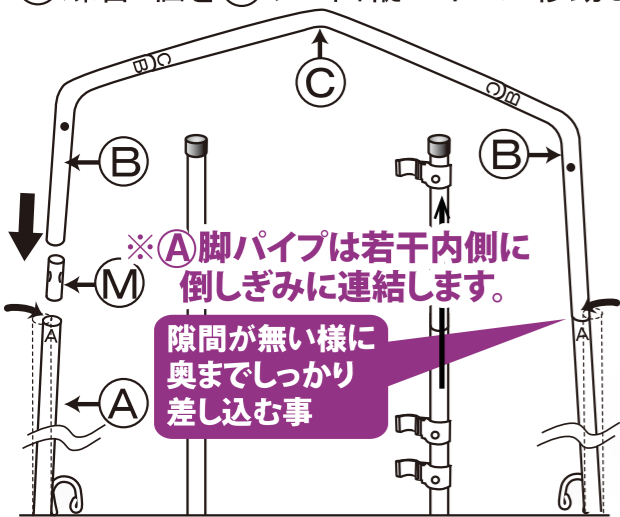


ツマ面(内側2本)
 縦パイプを奥まで
 しっかり差し込む事

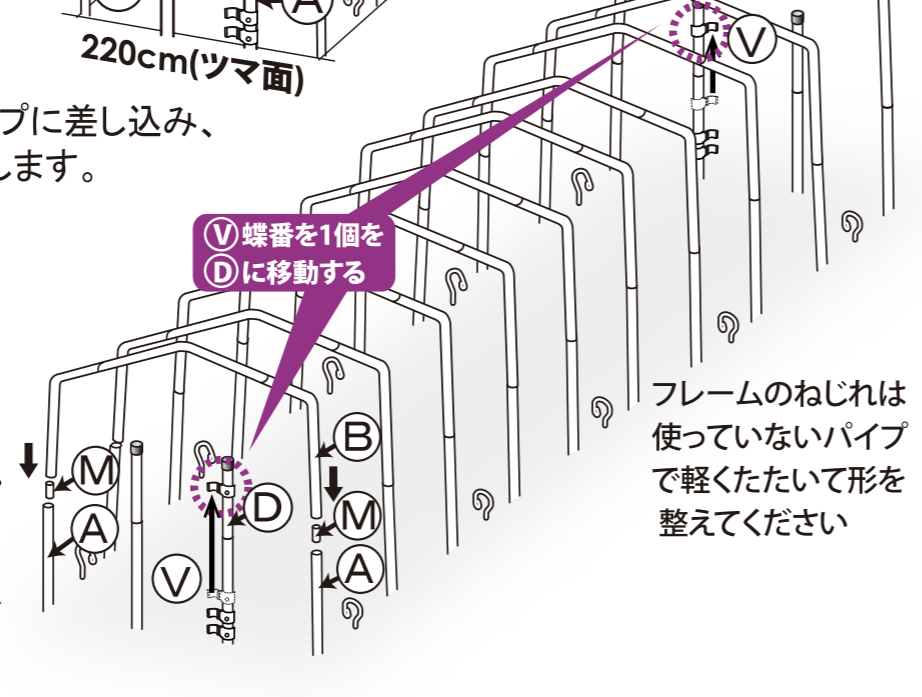


脚パイプとヤネパイプの連結

③で組み合わせたヤネパイプと
 (M) 中ジョイントを下図のように(A)脚パイプに差し込み、
 (V)蝶番1個を(D)ツマ面縦パイプに移動します。

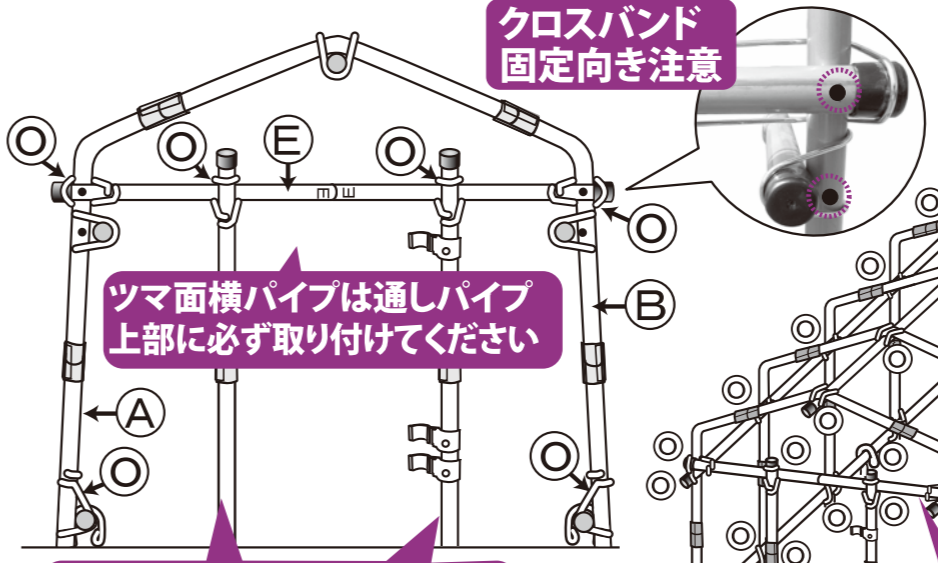


(V)蝶番を1個を
 (D)に移動する



フレームのねじれは
 使っていないパイプ
 で軽くたたくて形を
 整えてください

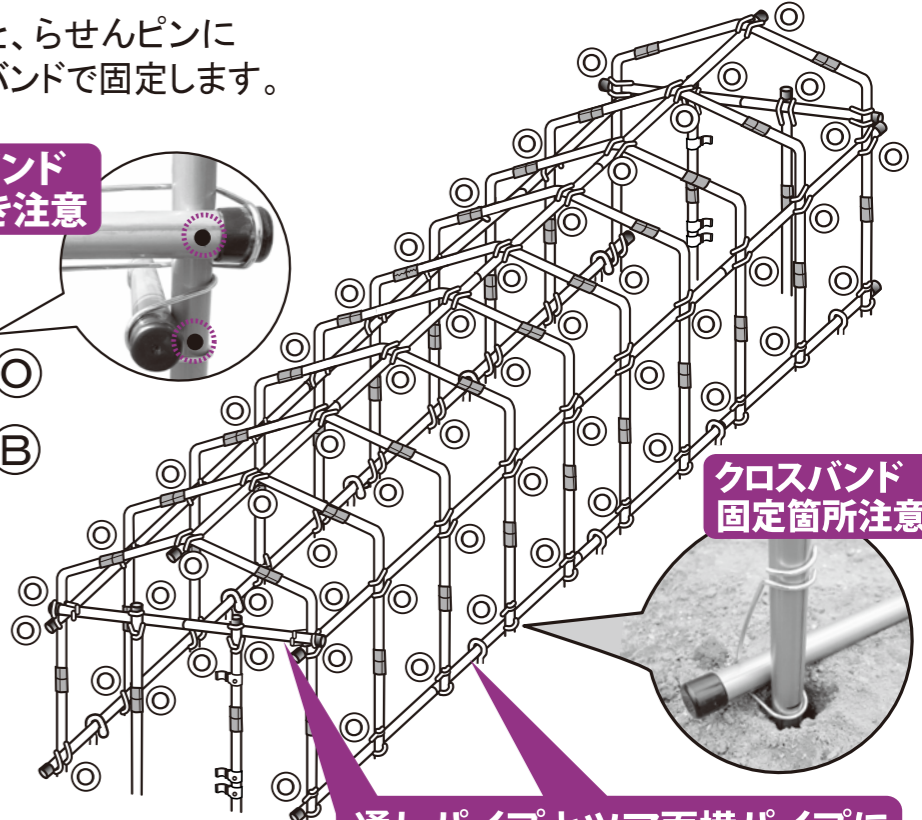
次に、②で組み立てたツマ面横パイプと、らせんピンに通した地面側の通しパイプを◎クロスバンドで固定します。



クロスバンド
 固定向き注意

ツマ面横パイプは通しパイプ
 上部に必ず取り付けてください

ツマ面縦パイプは、最前面に
 なるように取付けてください

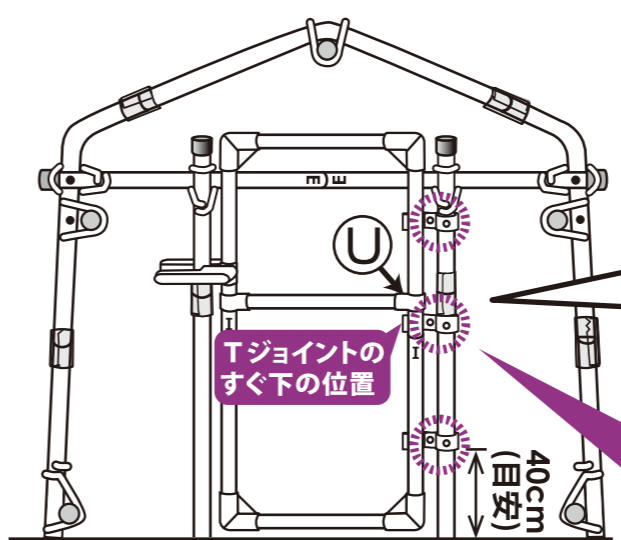


クロスバンド
 固定箇所注意

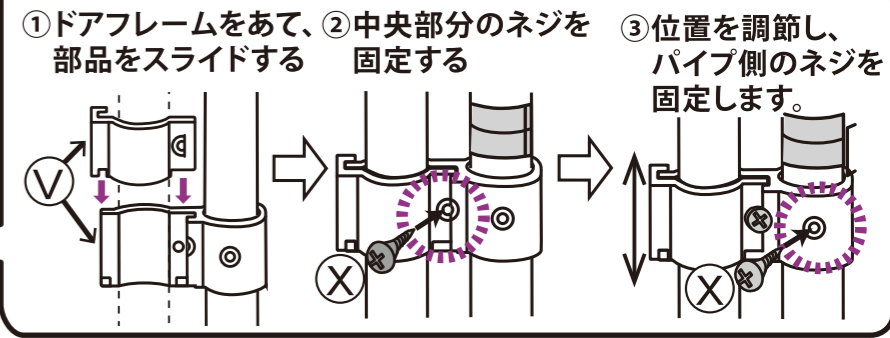
通しパイプとツマ面横パイプに
 (Y) シールを貼らない事

ドアフレームと本体ツマ面の固定

ドアフレームを、前側ツマ面と後側ツマ面の(V)蝶番部分にあて、位置を調節した後、蝶番側とパイプ側を(X)ネジで固定します。



蝶番の取り付け方

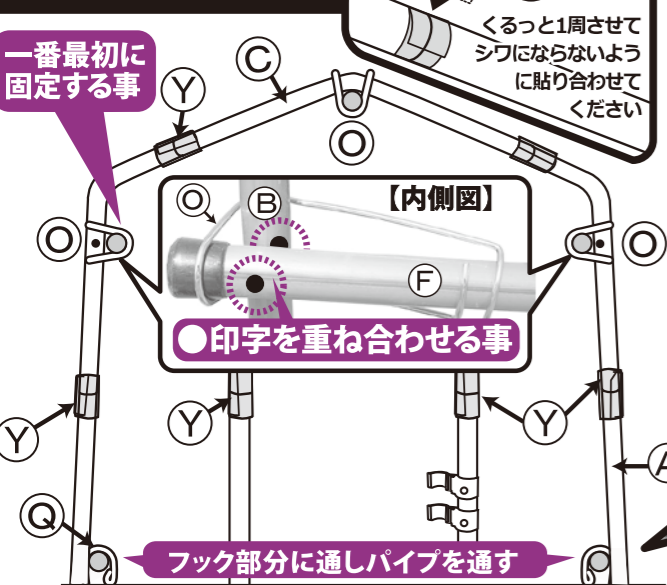


真ん中の蝶番は(U)Tジョイントのすぐ下の位置に、
 ドアがスムーズに開閉できるようにドアを持ち上げた
 状態で固定する

通しパイプとツマ面横パイプの連結

(B)肩パイプと(C)ヤネパイプの●印字部分に①で組み合わせた通しパイプ3本を◎クロスバンドで固定し、地面側の◎らせんピンに①の通しパイプ2本を通します。(クロスバンド結束方法参照)

接続部分の保護



一番最初に
 固定する事

くると1周させて
 シワにならないよう
 に貼り合わせて
 ください

【内側図】

●印字を重ね合わせる事

フック部分に通しパイプを通す



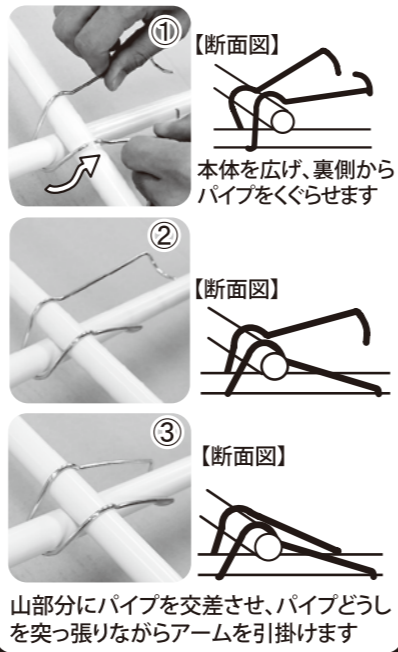
重要

付属の(Y)シールでパイプの
 継ぎ足し部分に水が入らないように
 必ず保護してください。

らせんピンのフック
 部分に通す

フック部分に通しパイプを通す

クロスバンド結束方法



①【断面図】
 本体を広げ、裏側から
 パイプをくぐらせます

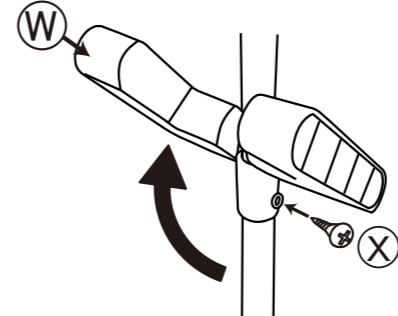
②【断面図】

③【断面図】
 山部分にパイプを交差させ、パイプどうし
 を突っ張りながらアームを引掛けます

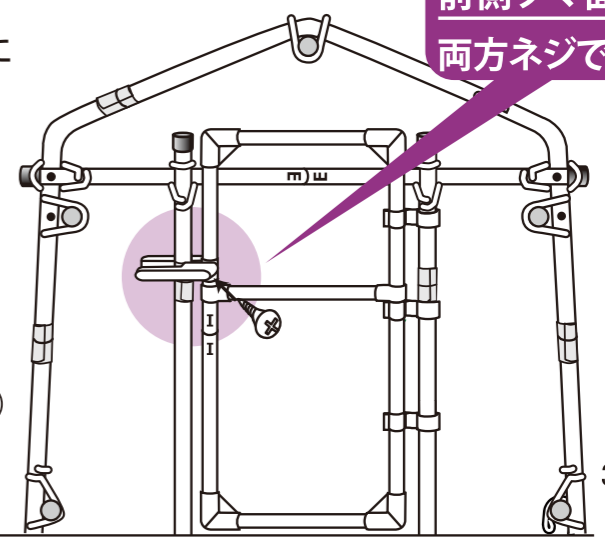
取っ手部品の取付け

(W)取っ手部品をツマ面(前後面)に向かって左側の縦パイプに合わせてから(X)ネジで固定します。

取っ手部品の
 ハンドル部分を
 上に向け、筒部分
 に(X)ネジを固定
 してください。



前側ツマ面と後側ツマ面
 両方ネジで固定すること

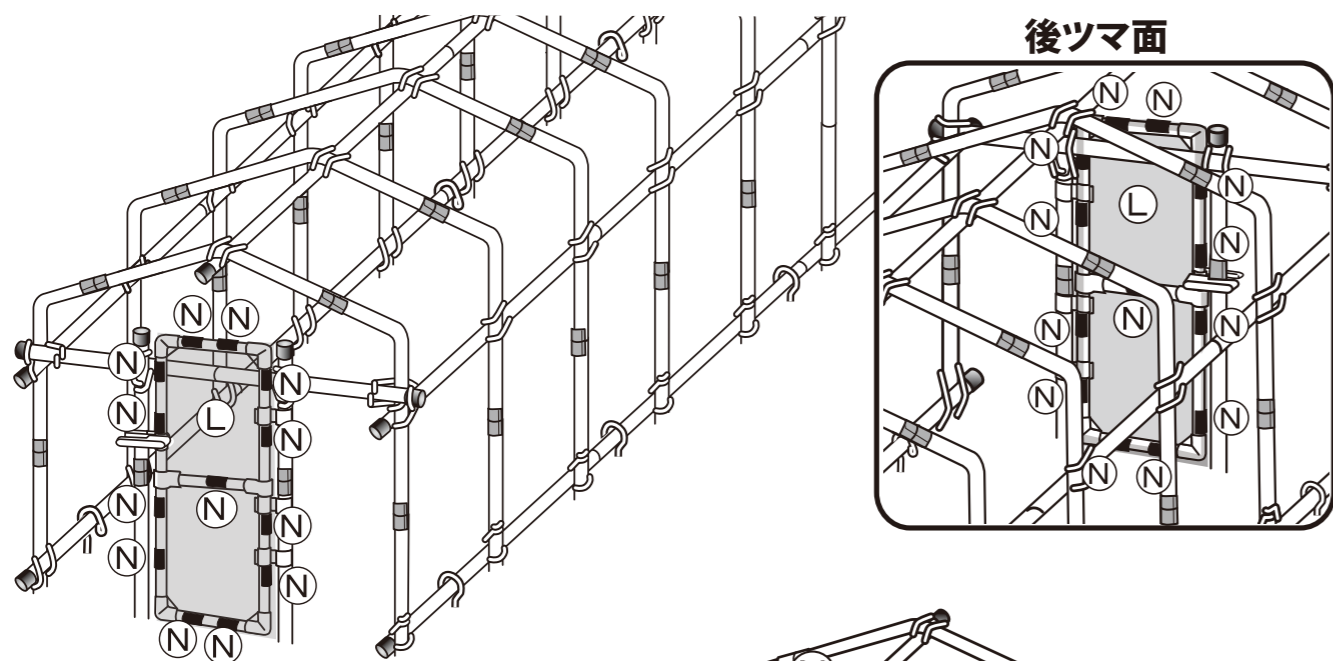


3枚目に続く

※①の通しパイプと②のツマ面横パイプには、(Y)シールを貼らないでください

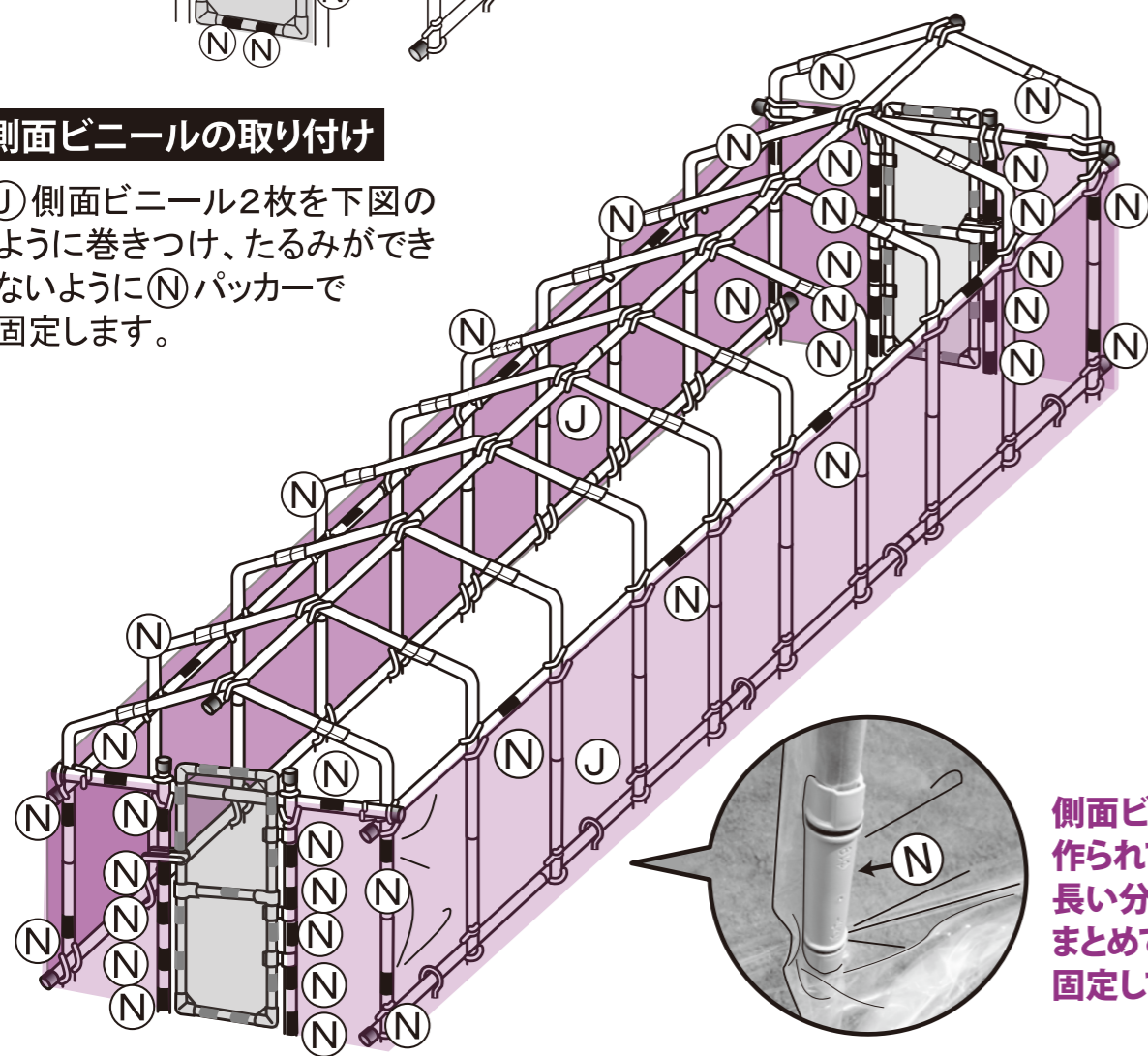
ドアビニールの取り付け

前ツマ面と後ツマ面のドアに①Lドア用ビニールを合わせ、①Nパッカーでしっかり固定します。



側面ビニールの取り付け

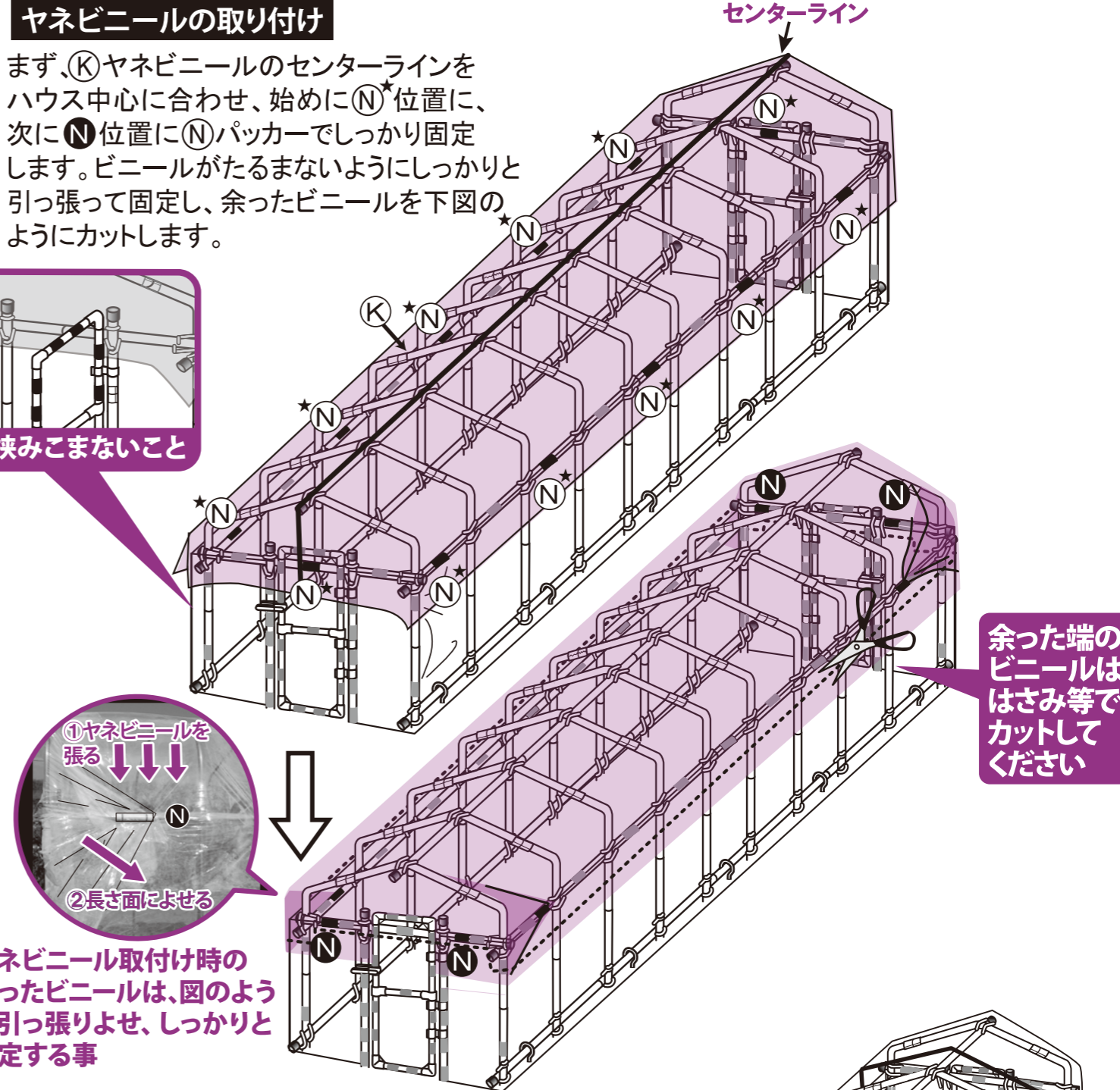
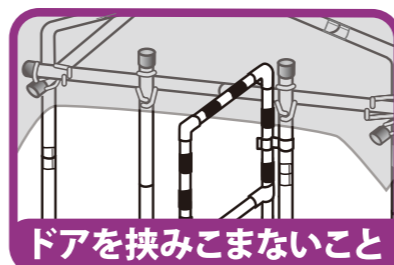
①J側面ビニール2枚を下図のように巻きつけ、たるみができないように①Nパッカーで固定します。



側面ビニールは長めに作られています。長い分は写真のようにまとめてパッカーで固定してください。

ヤネビニールの取り付け

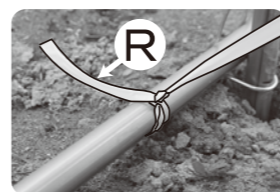
まず、①Kヤネビニールのセンターラインをハウス中心に合わせ、始めに①N位置に、次に①N位置に①Nパッカーでしっかり固定します。ビニールがたるまないようにしっかりと引っ張って固定し、余ったビニールを下図のようにカットします。



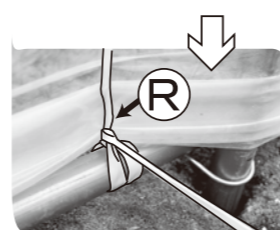
ヤネビニール取付け時の余ったビニールは、図のように引っ張りよせ、しっかりと固定する事

ハウスの取り付け

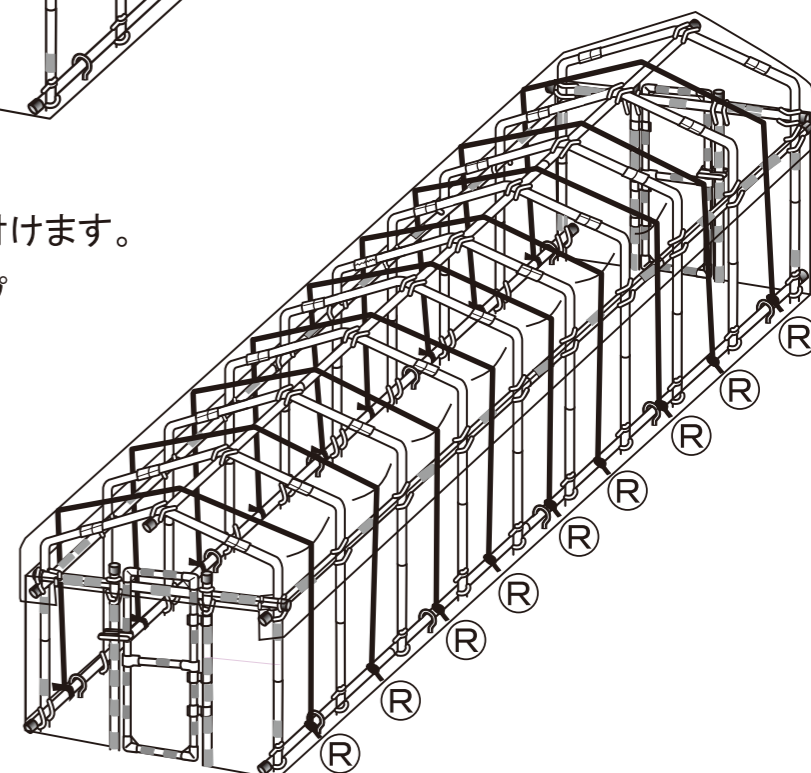
①Rハウスのバンド9本を下図のように巻き付けます。



①地面側の通しパイプにハウスのバンドを結びます。(丸結び2回)



②天井の通しパイプを押さえつけるように反対側の地面側通しパイプに結びます。(丸結び2回)



- この商品は、菜園用の温室ハウスとして設計されています。それ以外での使用はお止めください。
- パイプに物を掛けたり、ぶらさがったりなど、必要以上の荷重をかけたりしないでください。
- 地面が不安定なところに設置されますと、転倒する危険性がありますので、必ず脚部先端を40cm以上土中に埋め込んで安定が保てるようにしてからご使用ください。
- 風の強い場所や強風が予想される時は、全てのビニールを取り外してください。
- 火気の付近での使用はお止めください。
- 積雪は、ビニールやパイプフレームの破損原因になりますので、降雪のある地域では、冬季間はビニールを取り外してください。
- フィルムなどは引っ掛かりなどで破れやすいため、無理に引っ張ったりしないでください。